

—— 総合情報処理センター発足に寄せて ——

総合情報処理センターを学術情報センターに

金沢大学工学部長 小堀 為雄

長年の念願であった金沢大学情報処理センターは、この平成2年春に文部省の省令施設としての総合情報処理センターとなり、ようやく一人前のセンターとなりました。これには前センター長の吉田博先生のなみなみならぬご努力があり、また、前工学部長の柴原正雄先生をはじめとした金沢大学教職員の皆さんのご支援があったことを申し上げ、心からお慶びと、お礼申し上げます。

21世紀にかけて、科学技術の進歩はめざましく、その原動力となるのは電子計算機を主体とした情報科学の発展であります。しかし、情報社会は今にはじまったことではなく、人が人間社会を形成したときから、コミュニケーションの形として、考え出されたもので、その基礎は言葉であろうと思います。これが互いに伝承という形で発達し、やがて文字となり、新聞や電信、そして電波による通信技術へと発達して来ました。これが今日の情報であろうと考えます。そして、これと電子計算機のデータ処理能力とがあいまって、情報化社会を生み出しました。このような意味から電子計算機を媒体とした情報通信が新しい21世紀の社会を創造して行くことになろうかと思ひます。

金沢大学総合情報処理センターは、もはや単なる電子計算機センターではありません。北陸の基幹大学としての学術情報センターとして発展することを願ひます。また、これまでの大学の中心は図書館であったように、これからの大学の中心はこの学術情報センターであると考えますとき、全学的なご支援をこの新総合情報処理センターに頂けますことをお願い申し上げますとともにセンターの発展をお祈り申し上げます。

(前情報処理センター運営委員長)